

アースキャラバン バルカン

2018 活動報告



2018 年夏、バルカン半島で活動がスタート

“分かち合おう、幸せと自由を” - アースキャラバンは、国籍・人種・宗教の違いを乗り越え、戦争や争いを無くすことを誓いあい、その誓いを世界中に発信する世界規模のピース・ムーブメントです。

広島原爆の残り火を携え、2015年に日本でスタートしました。以来、日本各地でイベントを行い、現在も痛ましい紛争が続いているパレスチナ、戦争の深い傷跡を抱えるヨーロッパ各地、カナダのネイティブ居住地を訪れています。活動内容は、ピースコンサート、文化交流イベント、タオ指圧、ピースサイクリングからローカルプロジェクト支援まで様々。地元の人々の良き未来の創造をサポートします。

バルカン第一回の今年、各地で歓待を受け、困難な状況の中で未来を切り開こうとするイニシアティブとの感動的な出会いがありました。以下簡単な活動報告を致します。

トゥズラ（ボスニア）：地域センター「平和の火の家」で、バルカン諸国で初のタオ指圧ワークショップを開催、30人以上が参加し、大盛況。



スレブレニツァ（ボスニア）：ボスニア内戦の末期1995年7月に8000人以上のムスリム人の大量虐殺が起きたこの町で、地域の活性化を目指して活動する「希望の町プロジェクト」とそのエコファーム、地ビール製造所「シルバータウン」、メモリアルセンター訪問、生き残りの方・地元の伝統音楽家との交流。

ピースサイクリングとペトロヴァッチ（セルビア）：ボスニアとセルビアを結んだピースサイクリング。ペトロヴァッチ市長から平和のメッセージ受領、小学校の子供たちと先生、親御さんと交流イベントの実施：現地の伝統的なダンスと歌のパフォーマンス、折り紙、書道、お寿司各種ワークショップ開催。



「民族」紛争の真実

旧ユーゴスラビア連邦崩壊に伴うバルカン諸国の戦争及びボスニア内戦（1992-1999年）は、一般的に「民族紛争」と言われていますが、真実は異なります。「DNAから見れば、セルビア、ボスニア、クロアチア各国の人びとは、民族の違いは全くなく、あるのは宗教と文化・歴史の違いだけ」。カトリック、セルビア正教、イスラム教徒が混在すること、またオスマン・トルコあるいはオーストリア・ハンガリー帝国による占領を受けた複雑な歴史が、その背景にあります。

「民族紛争」の文字は、政治によって、別の文化・宗教グループへの不信と恐怖を煽るために徹底的に利用され、凄惨な「民族浄化」が起こりました。ボスニアでは、死者10万人、2万人がレイプされ、4百万の人

口のうち約半数の2百万人が国を追われました。セルビアでは避難民が大量に国内へ流入し、戦争により経済システムも完全に崩壊、再建は今なお困難を極めています。

現在も諸国間の感情は不安定で微妙。戦争のトラウマは大変深く、人によって他グループに抱く感情、態度も様々です。今なお政治は人を分断し、自己の利益獲得に走っています。それでも、スレブレニツァのように、再び共生を目指す素晴らしいイニシアティブがあり、数は少なくとも良き未来のために行動する人々の存在が希望の象徴です。過去に拘らない若い世代の交流も増えてきています。

「ここ（スレブレニツァ）で共生が出来れば、世界のどこでも可能なはず」「多様な文化の混在と共生は普通である、というももとのボスニア人のアイデンティティを再構築しなければならない」。これは世界へ向けた普遍のメッセージであると思います。

ミッション

多文化コミュニティ創造のサポート、社会変革のために行動するイニシアティブ同士のネットワーク構築を支援目的に、3つの視点から人々をコネクしていきます。



1. 諸外国の人々が現地の現状を知り、友好を深め、各国からサポートする「気」の創造
2. バルカン諸国内での人々の交流促進とネットワークの創造・強化
3. 活動家やプロジェクト同士の出会いとコラボレーション・相互支援の機会創造

アースキャラバン - 気と心で体感する癒しのアート

アースキャラバンの活動の背景には、大乘仏教の根本哲学である「自他不二」の思想の実践があります。それは聖書にある「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」と共通する、他者への全き共感に他なりません。自我を克服していく過程は容易ではありませんが、とても幸福で自由な人生を約束するものでもあります。

自他不二とは、人々を分断して争わせるあらゆる力を超えていくことであり、お互いが我を抑えれば「自他の利益は相克しない」という真実に目覚めることでもあります。また、深いトラウマ、横たわる溝をも超えていくことが出来る癒しの道でもあると信じます。

タオ指圧や気と心のワークショップでは、互いの幸せに責任を持ち、痛みを喜びに転換していく姿勢を学ぶことによって、互いの心身が癒されてゆくことを経験します。また、その生き方がどれだけ本人と周囲に平和で暖かい「気」を与えるかを、身体を通して実感します。これらのボディワークによる学びは、どの宗教にも共通する霊性「慈悲の心（無私的愛）」の実践が、どれほど人の心を潤して真の癒しをもたらすかを、理論でなく体感として経験できる大変ユニークなものです。地元の人々にとって、彼らの活動が、いかなる困難にも拘わらず、宇宙の意志に適っていることを確認できる、ユニークな平和活動ではないかと思ひ当たりました。この道が、未来への道を切り拓いていく上での力強い後押しとなることを願ってやみません。

2019年夏は6月15日～23日までセルビアとボスニアを結んで行われます。ハイライトはスレブレニツァでのストリートカルチャーフェスティバル。豊かな自然と伝統文化（舞踊と音楽）、美味しいローカルフードとエネルギッシュな地元の人びとが待っています。沢山の人の参加をお待ちしています！

テレビ取材の様様：<https://bit.ly/2BVE5TH>（英語）

ウェブサイト：www.earthcaravan.co.jp/en

Facebook: Earth Caravan Europe <https://bit.ly/2BWFc5u>

連絡先 (JP)：玉本三和 miwa.earthcaravan@gmail.com

今中千登勢 chitose.imanaka@gmail.com

